

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	佐賀県療育支援センター 児童発達支援センター くすのみ園		
○保護者評価実施期間	R7年1月14日		R7年1月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	R7年1月14日		R7年1月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・園児支援は、個々に応じて、発達のアセスメントを丁寧に実施し、個別支援計画を作成し、それに基づき、ADLを中心に丁寧に支援をしています。	・児童指導員、保育士アセスメント(ポーター治療、SM、観察)と専門スタッフによるアセスメント(検査・観察)を実施し支援に活かしています。 ・クラス内で日々支援について検討や実践について協議している。	・所外の研修受講や他施設と情報交換しながらよりよいアセスメントや支援について学ぶ機会を持ち、職員で周知、情報共有をしていき、職員のスキルアップを図っていきます。
2	・保護者支援に関しては、すべてにおいて丁寧な説明を心掛け、保護者からの相談はすぐに対応しています。 専門スタッフによる保護者相談を随時実施できる体制を整えています。	・日常的に連絡帳、電話連絡、月1回の親子降園の際に保護者とコミュニケーションを心掛けている。また保護者からの相談等に対応しています。 ・専門スタッフと相談を随時出来るように、二次元コードにての相談申込みや担当職員を通じて申込ができるようにしています。	・現在の形態を維持しながら、保護者からの意見を聞きながら対応をしていきます。 ・保護者とクラス職員・担当との面談が随時できるようにしていきます。
3	・専門スタッフ(言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、心理士)と児童指導員の協力体制で支援を実施しています。	定期的に専門スタッフが通常の療育時間に参加し、その際に園児の記録を詳細に記入している。療育後に対面で振り返りの話し合いを実施しています。	・専門スタッフと児童指導員と協力体制を今後も維持していき、専門スタッフと話しあいながら、効果的な支援について検討していきます。
4	・少人数のクラス設定で、保育園幼稚園認定こども園の活動に近い活動や設定での支援の中で、個別の発達支援に取り組んでいます。	・毎月のクラス職員会議で、日々の設定活動について保育園等に近い活動を意識しながら検討しています。 ・個別の支援や配慮をクラス職員内で毎日検討し取り組んでいます。	・事業所の支援プログラムを作成しそれに基づいた支援をしていく予定です。
5	・以前から5領域を基にした発達支援、アセスメントを取り入れており、法改正後の個別支援計画書作成がスムーズに移行できています。	・個別支援計画作成に関しては、児童発達支援管理者を中心に、各クラス、各担当の意見を踏まえて計画作成をしています。	・児童発達支援ガイドライン、保育所保育指針、幼稚園教育要領、特別支援学校の自立活動の要領等を学ぶ機会を職員で持ちます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族やきょうだい児が参加、交流できる行事がありません。	・業務の見直しで行事を削減してきました。	・保護者と交流できる行事はあるため、より充実させて、家族やきょうだい児が参加、交流できる行事を検討します。 ・本人支援だけでなく、家族全体が豊かに生活できることが大切であるので、本人支援と家族支援・地域支援はリンクしており、当センターとして重要性を認識して支援をしていきます。
2	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない。	・業務の見直しで行事を削減してきました。 ・コロナ禍以後、外部との接触を減らしてきた中で、他事業所との交流や活動について検討してきませんでした。 ・個人情報保護等の関係があり、外部との交流を控えていました。 ・歩いて行ける場所に保育所やこども園がなく、また受け入れ態勢が整っていません。	・園同士の交流については、検討します。
3	・地域住民(地区の民生委員や児童委員を含めて)と交流機会がない。	・業務の見直しで行事を削減してきました。 ・コロナ禍以後、外部との接触を減らしてきた中で、地域住民の方との交流の機会の検討してきませんでした。 ・個人情報保護等の関係があり、外部との交流を控えていました。	・地域団体へ、くすのみ園や療育支援センターを紹介するなど検討します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	佐賀県療育支援センター 児童発達支援センター くすのみ園
------	------------------------------

公表日 R7年3月28日

利用児童数 19人 R7年1月14日

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2	0	0	・体を十分に動かせるスペースがあると思います。 ・クラス内おもちゃで遊ぶスペース、個別で活動するスペースと分かれていて確保されていると思います。また、体育館や多目的室、その他いろいろ活動できる場所があって活動にメリハリがあっていいと思います。	部屋のスペースは基準に適合しています。今後も活動内容に合わせて、クラスの部屋以外（体育会、多目的室、中央デイルーム等）の利用をして活動の充実をはかりたいと思います。 部屋のスペースについては、ご理解頂けるように保護者の方に周知をします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	1	・手厚い対応をして頂ける人数で満足しております。 ・2:1の割合で先生がクラスに配置されていて、また補助の先生もついて頂いたり、専門職の先生が入って頂いているので安心していきます。	・児童発達支援を行う児童指導員・保育士及びこれらを含む職員の総数は基準に適合しています。また、別に補助職員（2名）を配置しています。さらに理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、及び心理士も専門スタッフとして療育に参加しています。今後も職員体制を維持していくようにします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	0	0	・絵カードなどを用いていて分かりやすいと思います。 ・コーナーが仕切られていて、遊ぶ場所、個別で活動する場所がわかりやすいと思います。また、写真やイラスト等も使用されているのでわかりやすいと思います。	・各クラスともに、お子様に合った必要な構造化を行っています。スケジュールやコミュニケーションツールについても、お子様の発達段階に応じて適宜対応をしています。今後も保護者様への説明や情報提供を行います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1	0	0	・いつも降園後に先生方がしっかり掃除して下さっていて清潔であると思います。 ・室内どこを裸足で歩いても大丈夫と思えるくらい綺麗にされていると思います。	・心地よく過ごしてもらえるように清潔で安全な環境を提供できるように毎日清掃をしています。活動内容に合わせて、クラスの部屋以外を使用しています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	0	・研修会なども開催して頂いていて有難いです。 ・支援員の先生だけでなく専門職の先生もいらっしゃるの、その子に応じた援助が受けられていると思います。	・保護者様やお子様のニーズや課題にあった支援計画を作成し、丁寧に説明をしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0	・プログラムに沿って支援して頂いていると思います。	・事業所の支援プログラムを作成しそれに基づいた支援をしていく予定です。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0	・子供の特性に合わせ、それに寄り添った支援計画をいつも立てていただいていると思っています。 ・私達の意見を充分取り入れて下さって支援計画が作成されていると思います。 ・計画作成前に保護者の方に子どもができるようになって欲しいことなどの意見を聞いて頂き、現段階の発達状況を考慮して計画を作成して頂いていると思います。	・保護者様から支援のニーズの聞き取りをし、児童指導員、専門スタッフによるアセスメントを実施し課題にあった支援計画の作成を行います。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	0	・支援内容はわかりやすく具体的に書かれていて、家でも同じように実践しやすいです。他事業所や子ども園にも伝えやすく情報の共有になっています。	・ガイドラインに示された内容で、お子様の発達段階やライフステージに応じて適切に支援項目を設定し、支援内容も具体的に記載します。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1	0	0	・日々の連絡帳や電話などで様子を教えて頂いているので、どのような支援がされているのかわかりやすいです。計画書説明の際には家ではしなかったりしていることを園ではしていたりと新たな一面を知ることができたりしています。	・クラス職員で支援計画を共有し、支援計画に沿って支援を行っています。
10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1	0	1	・いろいろな活動プログラムを考えて下さっていると思います。 ・クラス便りで活動内容がわかり、また連絡帳でも活動したことや様子を書いて頂いているので毎回楽しめているのが伝わってきます。	・クラス職員複数で活動プログラムを検討しています。お子様に様々な体験を通じて興味関心の幅をひろげることや自信に繋がる内容を日々工夫しています。活動プログラムについては、機会がある時に説明をしています。	

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	2	5		・園同士の交流については、検討します。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0	・わかりやすく詳しく説明して頂きました。	・契約の際にわかりやすい説明をしています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0	・しっかりして頂いています。 ・計画書に沿って詳しく説明して頂きました。その際に園での様子も教えて頂いたりして、家ではしてなくてもくすのみ園ではしていたりすることもあって新たな一面を知れました。	・児童発達支援計画について、個別でわかりやすく説明をしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	0	0	0	・ペアトレや保護者研修会に参加させて頂き、他の保護者の方とも話す機会があつて良かったです。	・療育支援センター研修事業で令和7年度は保護者向けの研修会を予定していますので、案内をしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15	0	0	0	・毎日の様子を連絡帳に書いて頂いたり、お迎えの際に報告して頂いています。 ・連絡帳でやりとりをしているので、こちらが困っていることなども伝えることができています。	・日々の連絡帳を通してお子様の様子や支援状況をお伝えしています。また、必要な際には電話や送迎時にお子様の状況を保護者様へ伝えることを継続して行います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	0	・定期的に面談があり、有難いです。 ・定期的に面談をして頂いたり、連絡帳でのやりとり、電話を頂いたりしているので、相談しやすくまた、アドバイスを頂いているのでありがたいです。	・家庭訪問や児童発達支援計画の成果や聞き取り面談を通じてお子様の園での様子を伝え、保護者様の困りごとやニーズを直接お聞きする機会を設け、助言等を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1	0	0	・いつも一生懸命支援して頂いております。 ・小さなことでも相談に乗って頂き、受け止めて頂いてありがたいです。	・今後も丁寧で共感的な支援を心掛けていきたいと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	6	0	4	・保護者研修会後の座談会で他の保護者の方とお話する機会がありました。我が子が入園してからはきょうだい児が参加できるイベントはなかったので、あればいいなと思います。	・保護者が交流できる行事はあるため、より充実させて、家族やきょうだい児が参加、交流できる行事を検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	0	・連絡帳に記入した際にはすぐに対応して頂いています。	・保護者様からの相談や申し入れは迅速に上司へ報告、相談を行い対応をしています。保護者様の思いに寄り添い、的確で具体的な助言ができるようにスキルアップに努めます。 ・専門スタッフへの相談については、随時受付できるようなシステムにしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		・今後もお子様や保護者様にわかりやすいように伝える配慮をしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	3	1	2		・クラスの活動内容や園の行事予定は、毎月のクラスだよりに掲載しています。業務に関する自己評価の結果については令和6年3月にホームページで公表しています。今後も年1回を目安に公表を行います。公表する際は保護者様へ周知をします。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	1		・個人情報の取り扱いについては、県の条例に基づき適正に行っています。留意点について説明をしています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	2	・どのようなかんじで訓練されているかまではわかりませんが、クラス便りに避難訓練と記載されているので、訓練はされていると認識しています。	・必要なマニュアルの作成をしています。 ・消防計画のファイルを作成して、保護者様が閲覧できるように玄関に配置しています。 ・各種マニュアルに基づき、訓練を実施しています。 ・今後は年間計画に基づいて、訓練を実施していきます。 ・保護者様への周知に努め、協力を仰ぎながら、今後も安心・安全に努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	4	・クラス便りに避難訓練と記入がされているので、訓練はされていると認識しています。	・現在、子どもたちのいる時間帯に毎月火災・風水害・地震を想定しての避難訓練を実施しています。

満足度	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	0	1	・安全計画のファイルを作成して、保護者様が閲覧できるように玄関に配置しています。安全計画のファイルの場所を周知します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	1	・ちょっとした傷ができた際でも、帰りのバスで教えて頂いています。 ・事故発生時は、怪我等の対応後、速やかに状況を記録（文書、写真）をして、保護者様に説明をしています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0	・いつも楽しく通っています。行き渋り等はみられず、お迎えのバスが到着した時も喜んで乗っています。 ・今後もお子様に安心感を持って過ごしてもらえるように支援に取り組んでいきます。
28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	0	・先生方に優しく楽しく接してもらい、支援してもらっているのが子供の姿を見ていて感じます。 ・自発的に楽しかったという言葉は聞かれません、行き渋りもなく喜んでバスに乗って行っています。連絡帳や先生とお話した際にも様子を聞いていると楽しんでいるのが伝わってきます。 ・今後もお子様に楽しく通園していただけるよう、支援に取り組んでいきます。	
29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0	・いつも寄り添った対応をして頂き感謝しております。年度途中の突然の入園でも受け入れて頂き、暴れん坊だった息子がここまで成長できるとは正直思っておらず、適切な支援をして頂き満足しています。 ・今後もお子様や保護者様の思いに寄り添い、適切な支援ができるよう取り組んでいきます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		佐賀県療育支援センター 児童発達支援センター くすのみ園			公表日	R7年3月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	・クラス間で使用時間を調整している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	0	・フリー的な職員がいることで臨機応変に対応できている 朝礼でその日の出席児童や活動内容に合わせて職員配置を調整している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	2	・子どもが過ごす場所は、必要に応じて構造化を行っており、冷暖房など室温にも配慮している。	・子どもの便座が温度調整できない便座である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	2		・非匿名で意見を発信できる機会があれば良いと思う。 ・職場内で意見を出しやすい雰囲気づくりをしていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	7	・R6年度からは、自己評価を実施するにあたり第三者の同席してもらい客観的な意見をもらい業務改善につなげた。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	・年間計画、新任の研修などを計画的に実施	・公費で受講した研修の報告会がなく、復命書の供覧のみ ・研修報告を周知するために毎月の課会議で報告をしていく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	3		・来年度公表予定で準備を行っている ・支援プログラムについて職員への周知をしていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0	・指導員だけでなく専門職も一緒に作成している	・発達特性のアセスメントがあればと思う
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	・専門職にも意見をもらい様々な視点からみてより良い支援内容について熟考している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	・クラス職員間で随時情報共有をしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0		・適応行動をはかるアセスメントツールの導入
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0		

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	・保護者からの申請が前提だと思われ ますが、移行後も要望に応じて、 保育所等訪問支援でフォローが できていると思います。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	・移行先の組織から現状を見学 に見えられたの情報共有と共に 保護者から支援経過報告書を 渡すなどして情報共有ができて いると感じます。 ・支援経過報告書を交付して 情報共有している	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	14	1	市内のセンターが集まった 会議に参加または県内の センターを集めての会議を 企画している	児童発達支援センターとして、 地域での業務について職員へ 周知していく。
	29	質の向上を図るため、積極的に 専門家や専門機関等から助言 を受けたり、職員を外部研修に 参加させているか。	15	0	職員全員で大学の先生から 講義を受ける機会を設けて いる	
	30	(自立支援)協議会こども部会 や地域の子ども・子育て会議 等へ積極的に参加しているか。	13	2	子ども部会立上げの話合い には参加している	・子ども部会が必要 ・児童発達支援センターとして、 協議会や地域の子どもに関 する会議への参加状況につ いて職員へ周知していく。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センター との連携を図り、必要に応じて スーパーバイズや助言等を受け る機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園 等との交流や、地域の中で他の こどもと活動する機会があるか。	7	8	こども園の利用や地域での活 動は、保護者様の意向を伺い ながら、個別に進めている	・出来る範囲で地域の園との 交流ができればと思う ・併行通園先以外の近隣地域 との交流は少ない
	33	日頃からこどもの状況を保護 者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理 解を持っているか。	15	0		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	0		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	・年間を通じて、専門スタッフとの個別面談ができるようにしている ・保護者からのニーズだけでなく、心配なケースには職員から声掛けして相談をすすめている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	7		・家族が交流できる行事の企画をしてみてもよいのではと思う ・きょうだい交流の機会がない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	2	年間計画を年度当初に配布。毎月、活動内容、行事等を記載して物を配布している。	・行事予定はHP公開できると思われる
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	9		・地域の児童委員や民生委員と情報交換を出来たらと思う ・地域住民と交流機会がない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	0	マニュアル関係をまとめたファイルを作成	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	2		・子どもの安全計画について、職員、家族へ周知をしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	事故発生後すぐに対応策を全職員で検討している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	3	組織的決定や保護者には十分に説明している。なお身体拘束を行うことはないために個別支援計画書に記載をしていない。	・身体拘束についての組織での取り組みについて職員へ周知していく。